

まちづくり市民カレッジ+について

令和5年度まちづくり市民カレッジ+について

田辺市社会教育委員会議では、地域の魅力を再発見し、田辺の未来を担う人材の育成及び地域の未来を読み解き、次代を担う後継者（人材）の発掘と育成を目的として、「まちづくり市民カレッジ+」を開催しました。

【日程・講師・内容等】

回	開催日時	内容等	講師
第1回	令和5年 11月1日（水） 8：50～9：40	高校出張講座 【田辺工業高校】	クオリティソフト株式会社 ドローンビジネス開発部長 竹中 智彦 氏
第2回	令和5年 12月11日（月） 13：25～14：15	中学校出張講座 【東陽中学校】	株式会社福福 代表取締役 岡野 祐己 氏
第3回	令和6年 2月18日（日） 13：30～16：00	一般公開講座 みんなでつくる田辺のしあさって ～ミカタが変わる学びのチカラ～ 第1部 講演 第2部 パネルディスカッション	第1部【講師】 西山 佳孝 氏（公民館のしあさって） 大里 みずき 氏（公民館のしあさって） 第2部【コーディネーター、パネリスト】 西川 一弘 氏（和歌山大学教授） 西山 佳孝 氏 大里 みずき 氏 真砂 充敏 市長

【会場・定員】

回	会場	所在地	定員
第1回	和歌山県立田辺工業高等学校	田辺市あけぼの 51-1	一般募集無
第2回	田辺市立東陽中学校	田辺市神子浜 1丁目 4-66	一般募集無
第3回	田辺市文化交流センターたなべる	田辺市東陽 31-1	60 名

【対象】

田辺市内に在住・在学・在勤の中学生以上の方（令和5年4月1日時点）

【実施結果について】

第1回講座（田辺工業高校出張講座）

令和5年11月1日（水）に和歌山県立田辺工業高等学校1年生の授業において、クオリティソフト株式会社ドローンビジネス開発部長の竹中智彦さんを講師にお招きして、講演会を行いました。

「田辺暮らしのメリット？とは」と題し、会社の業務内容や働き方についてご紹介いただくとともに、自身の経験を基に、この地域で働き暮らすことのメリットについて、講師の竹中さんからお話しいただきました。

参加者からは、「都会の方が便利で良いという考えでしたが、一度外に出て自分の仕事のレベルを上げてから地元に帰るという考えも良いなと思いました。」「都会に出ることだけ考えていたけど、地元でも働くことを少し考えることができた良い機会だった。地元にある良い企業にも目を向けていこうと思った。」「地元の魅力を伝えていきたいなと思いました。自分も都会の人に自分の地元で暮らしたいと思えるような町づくりをしたいと思いました。」などの感想をいただきました。

第2回講座（東陽中学校出張講座）

令和5年12月11日（月）に田辺市立東陽中学校2年生の授業において、株式会社福福代表取締役の岡野祐己さんを講師にお招きして、講演会を行いました。

講師の岡野さんは東陽中学校の卒業生で、これまでも東陽中学校でSDGs学習の一環として取り組んでいるTOYOマートにもかかわっており、そうした取組事例も交えながら、岡野さんが取り組んできたことや頑張ってこられたことを中心にお話しいただきました。

参加者からは、「都会もいいけど地元のよさも気づけた。自分も地元で働きたい気持ちが少し出た。」「仕事が趣味という話があり、仕事を楽しんでできていてすごく憧れました。」「今日の話聞いて、改めて自分の将来を考えないといけないと思ったし、夢を実現するためにどうすべきかを考える機会になった。」などの感想をいただきました。

第3回講座（一般公開講座）

令和6年2月16日（日）に、公民館の現代的価値を見つめ直し、公民館（社会教育）の現代的な可能性を市民の皆さんと共有するという趣旨で、“公民館のしあさって”の西山佳孝さん、大里みずきさんのお二人をお招きし、「みんなでつくる田辺のしあさって～ミカタが変わる学びのチカラ～」を開催しました。

第1部では、「セカイに開かれた田辺から考えるコミュニティデザインの可能性 ～公民館や社会教育を基盤として～」と題し、公民館の成り立ちを振り返り、南方熊楠の生き方にも触れながら、公民館の現代的価値やコミュニティデザインの可能性について西山さんからご

まちづくり市民カレッジ+について

講演いただき、その後、「集落におけるコミュニティデザインの実践」と題し、実際にご自身がお住いの地域で試行錯誤しながら取り組まれている地域づくり活動の状況について大里さんからご講演いただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、真砂市長にも登壇いただいて意見交換を行い、参加いただいた方にも「あなたの考える田辺のしあさって」を共有いただき、パネリストと意見を交わしていただきました。

参加者からは、「西山さんが“金銭的な価値を追い求めてばかりいても続かない。人と人との関係性があるからこそ初めて地域課題の解決に繋がっていく”、また、大里さんが“誰かがやってくれるだろう…ではなく、1人1人が主体的にやっていけば、地域は面白くなる”と話されていたのが印象的でした。」「おもしろそうなことをやらないと人は集まらないということや誰でも社会教育に参加できる仕組み、気軽に参加できる、コミュニティデザインが必要なことを教えてくださりとても勉強になりました。」「西山さんの未完、無目的、課題解決を目的にしないという考え方が印象に残った。」などの感想をいただきました。